

国臨協関信支部

長野地区会だより

長野地区会定期総会学術研修会に参加して



NHO まつもと医療センター

宮原 秀和

令和元年 6 月 22 日（土）NHO 信州上田医療センターにおいて、第 34 回国臨協関信支部長野地区会定期総会・学術研修会が開催されました。

来賓として、関東信越グループより北沢臨床検査専門職、国臨協関信支部より岩崎支部長、木津谷理事にご臨席賜りました。

学術講演ではシスメックス株式会社の原敬志先生より「遺伝子検査でわかることー遺伝子の基礎からがんゲノム医療までー」についてご講演をいただきました。基本的な遺伝子関連検査と遺伝子検査についてのお話やがんゲノム医療に対する行政の動きについてまで幅広く学ぶことができました。中でも次世代シーケンサー（NGS）のお話は印象的で、NGS では一度に多数のがん遺伝子を調べることが出来る新しい遺伝子検査ということでとても勉強になりました。今後もこの学術講演で学んだ知識を活かせるよう努力していきます。

続いて特別講演では北沢臨床検査専門職から「伝達事項ならびに会員の皆様にむけて」と題し、国立病院機構および関東信越グループの概要、研修会や認定試験の補助制度など人材育成についてご講演いただきました。特に認定試験や主任技師等任用候補者選

考のお話が印象的で、私も認定試験の補助制度を有効に活用し、積極的に資格を取得したいと思いました。また、これから自分がどのように仕事と向き合い努力していかなければならないか改めて深く考えなくてはならないと感じました。

定期総会では平原地区会長からご挨拶を頂き、齋藤議長の進行の元、平成 30 年度経過報告、平成 31 度事業方針案、新役員選出などが審議され、会員の承認をもって無事終了しました。

総会・学術研修会終了後には意見交換会も行われました。多くの会員の皆様と和気藹々とした雰囲気の中、様々な情報を交換し、親睦を深めることができ、とても有意義なものとなりました。

最後になりますが、お忙しい中ご講演いただいた北沢臨床検査専門職、原先生、ご臨席賜りました岩崎支部長、木津谷理事、そしてこの会を企画・開催していただきました長野地区会役員の皆様に厚く御礼申し上げます。

